

品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 真野 孝次
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



試験名称	木造住宅用基礎に使用するアンカーボルト「高耐力65フィストアンカーボルト」の引張試験							
依頼者	名称：株式会社カナイ 所在地：埼玉県八潮市西袋 717-1							
試験体 (依頼者提出資料)	試験体記号	アンカーボルト		基礎相当材		数量		
	D	全長：820 mm 埋め込み深さ：340 mm ねじ部：M16 軸部：径 14.6 mm		寸法：150 mm×400 mm×3000 mm コンクリート：普通 21 18 20 N (JIS A 5308) 鉄筋：主筋；D16 SD295A (JIS G 3112) せん断補強筋；D10 SD295A (JIS G 3112)		3		
	(注) 試験は、基礎相当材のコンクリート圧縮強度が 24 N/mm ² ±10%の範囲内で実施した。 参照：図 1 及び図 2 (試験体)、表 1 (コンクリートの圧縮強度試験結果及び配合)							
試験方法	試験概要：基礎相当材に埋め込まれたアンカーボルトにカプラー及び加力用棒鋼を取付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して引張荷重を加えた。 また、加力中、ひび割れ等の試験体の状況を目視により観察した。 変位の測定は、アンカーボルトー基礎相当材間の相対上下方向変位について行った。 加力装置：センターホール型油圧ジャッキ（揚量；326 kN）及びセンターホール型ロードセル（容量；200 kN、非直線性；0.2 %RO、定格出力；2030×10 ⁻⁶ ） 測定装置：電気式変位計（容量；50 mm、感度；200×10 ⁻⁶ /mm、非直線性；0.1 %RO）及びデータロガー 参照：図 3 (試験方法)							
試験結果	試験体		基礎相当材のひび割れ発生時		最大荷重時		破壊状況	基礎相当材のコンクリート圧縮強度 (N/mm ²)
	記号	番号	荷重 P (kN)	変位 δ (mm)	荷重 P _{max} (kN)	変位 δ (mm)		
	D	1	76.0	2.6	107.4	28.6	基礎相当材の側面の剥落を伴うアンカーボルトの抜け	24.5
		2	75.6	2.5	106.0	22.5	アンカーボルト軸部の破断	
		3	75.6	2.9	106.8	24.2	基礎相当材の側面の剥落を伴うアンカーボルトの抜け	
		平均	75.7	2.7	106.7	25.1	—	
参照：図 4 及び図 5 (荷重－変位曲線)、写真 1～写真 4 (破壊状況)								
試験期間	2020年 1月20日							
担当者	構造グループ 統括リーダー 上山 耕平 統括リーダー代理 林 崎 正 伸 主任 小山 博 由 菱 沼 匠 (主担当)							
試験場所	中央試験所（埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号）							